

## 令和5年度 管理運營業務点検報告書

対象施設	横浜市駒岡地区センター
対象期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
指定管理者	アクティオ株式会社
実施日	令和6年6月4日(火)
点検方法	業務点検実施マニュアルに沿い、指定管理者からの報告書類の内容審査、ヒアリング、施設の立ち入り調査により実施した。
講評	協定書及び計画書に基づいた管理運営が適切に行われています。利用料金収入実績及び利用者数は前年度比で増加を記録しました。特に、小学生特区の再開やSNSを活用した自習室開放に関する情報提供の継続実施など、利便性を向上させることで小学生利用者数の大幅な増加につなげました。自主事業では、利用者のニーズを見極め多種多様な事業を実施いただいております。駒岡音楽祭など季節ごとのイベントも大変人気です。また、「駒岡丘の上こども食堂」は、多くのボランティアの方々にも輪が広がり、大変好評です。冷凍食材の活用など積極的に新たな取組を行っています。ニーズ対応費を活用した毎月の図書購入や利用希望申請の利便性向上に努めたことで、利用者満足度の上昇につなげました。今後も地域コミュニティの醸成、地域連帯の意識形成を図る活動拠点としての役割を果たし、利用者に寄り添った運営を期待しています。
指摘事項	特になし
改善状況	特になし
添付資料	業務点検結果シート(別紙)

頻度	点検項目	点検内容	点検結果
毎月	利用料金収入実績	収入実績、見込額達成状況	利用料金収入実績目標対比116% 前年度比120%
	利用者実績	開館日数、入館者数、利用層別利用数、居住区別利用数、その他利用数	利用者数は合計77,502人。前年度比134%
	会議室等稼働率	部屋別の稼働率	全体の稼働率は49.8%(体育室は87.5%)
四半期	指定管理料の執行	指定管理料の支出金額、執行率	予算書に基づき適正に執行されている。
		ニーズ対応費執行状況(品目、数量、金額)	イベント関連費など1,027,850円が執行されている。
	自主事業実施状況	募集対象、事業名、開催回数、参加人員、経費、1人あたり参加費、講師謝金、事業計画書の自主事業計画との整合性	幅広い年代を対象に多種多様な事業が実施され、延べ2,665人が参加。「駒岡音楽祭」や「駒岡丘の上こども食堂」などを開催し、好評を得た。
	運営体制	館長、指導員(副館長)、スタッフの勤務実績	業務に支障のない勤務実績であった。
	施設の管理状況	点検日時、点検状況 事業計画書どおりの適切な管理の実施(第三者への委託状況等)	適切に管理が実施されている。
	修繕の実施状況	施設修繕の実施状況	適宜実施されている。
	備品	備品(I種)の購入・廃棄状況	適宜実施されている。
	広聴、ニーズ把握	広聴(窓口、電話、ご意見箱、アンケート、市コールセンターへの意見・要望等)や利用者ニーズの把握状況と対応、掲示の有無等	利用者からのご意見・ご要望に対し、適宜対応がとられている。
巡視点検	受付窓口の状況、館内の状況等	適切に運営されている。	
年1回	利用方法	利用要綱や利用案内の内容、備付け状況等	館内の利用案内だけでなく、イベントの実施案内などについても、館内に貼っており、利用者に周知されていた。
	個人情報保護	個人情報保護取扱特記事項の取組状況(研修の実施、誓約書の提出等)	スタッフ研修を行うとともに、誓約書が提出されている。
	緊急時対策	緊急時対策マニュアルの作成・運用状況	作成・提出されている。
	防犯・防災対策	防犯・防災対策マニュアルの作成・運用状況	作成・提出されている。
		消防計画の作成・提出状況	作成・提出されている。
	保険	施設賠償責任保険への加入	加入している。
	研修	職員等に対する研修の実施状況	施設運営に必要な研修を実施している。
本市重要施策への実現に向けての取組	横浜市一般廃棄物処理基本計画に沿った取組、市内中小企業への優先発注等の取組状況等	市役所のごみゼロルート回収に参加してゴミの分別回収を行っている。施設修繕等、業者委託する時は市内・区内中小企業に優先的に発注している。	
随時	地区センター委員会	日時、場所、出席者、議題、意見等	6月に開催。前年度の事業報告及び今年度の事業計画等が議題。
	利用者会議	日時、場所、出席者、議題、意見等	12月に開催。各報告及び利用者との様々な意見交換を行う。
	事故等の発生状況	日時、発生状況、対応、再発防止策の検討	特になし
	損害賠償	損害賠償の発生状況	特になし
	不可抗力	不可抗力発生に伴う影響	特になし
	情報公開	件名、申請状況、対応状況	特になし
	喫緊の対応が必要又は特に重要な意見、要望	すぐに対応が必要な施設に対する意見、要望	特になし
	特に重要な施設の維持管理、修繕に関すること	利用の制限を伴うなど、重要な施設の維持管理、修繕に関する状況	バスケットゴール修繕R6年度実施予定
特筆すべき事項	サービス向上や経費節減等の取組事項		改善指導事項
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■利用者の声に対応し、階段の手すりカバーを修理するなど安心して利用できる施設作りに注力した。</li> <li>■小学生特区の再開など、利用者サービス向上に努めた。</li> <li>■照明の節電に努め、経費節減と省エネ対策を行った。</li> </ul>		特になし